

平成23年度 第4回 CCC 電気通信工学グループ運営委員会議事録案

I. 日時： 平成24年2月9日（木） 午後2時から午後5時まで

II. 場所： 公益社団法人私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者： 玉野委員、小林委員

（事務局）井端事務局長、森下主幹、野本職員

IV. 議事概要

1. 検討内容

1. 1 電気通信工学教育における教育改善モデル（中間まとめ案1）と電気通信工学教育における教育改善モデル（中間まとめ案2）について、サイバーFD 研究員に対して実施したアンケートの結果を出席者全員で確認した。アンケート結果に基づき、中間まとめ案1と中間まとめ案2の見直しを行った。

(1) 中間まとめ案1について

- ・「1. 到達度として学生が身につける能力」③に関して、アンケートの意見に基づいて検討を行った結果、「制作過程で他者の意見を聴き、自らの設計方針を再評価し、改善できる。」と修正することとした。
- ・「4. 授業運営上の問題及び課題」①に関して、アンケートの意見に基づいて検討を行った結果、「及び教材等の環境」の文言を追加することとした。

(2) 中間まとめ案2について

- ・「2.2 授業の仕組み」に関して、「電気通信工学の専門知識と倫理、法規、管理などの知識を身に付けている」の文言であったが、「教養知識」とすべきとの認識で一致し、修正することとした。

1. 2 電気通信工学教育における教育改善モデル（中間まとめ案1）と電気通信工学教育における教育改善モデル（中間まとめ案2）に対して、PDCAの仕組みを付け加える必要があるとの認識を共通理解し、「授業の点検・評価・改善」の項目を設けることとなった。この項目を第3項として以下の文言を追加した。

(1) 中間まとめ案1について

この授業の点検・評価・改善は、基礎の担当教員と応用の担当教員がファシリテータも交えて、さまざまなテストなどを利用した多様な手段で達成度の調査を行う。その上で、教員による授業の評価シートや学習ポートフォリオの情報を共有し、随時ネット上での意見交流を行い、課題の洗い出しと改善に向けた方策を検討する。

(2) 中間まとめ案2について

この授業の点検・評価・改善は、電気通信工学分野の教員がファシリテータ、他大学を含む他分野の教員、社会の専門家を交えて、学習成果の発表を踏まえて意見交流を行い、課題の洗い出しと改善に向けた方策を検討する。

1. 3 その他

事務局より、教育改善モデルは提案の骨格を記述するものであるから、平成 24 年度に報告書を編集する段階において、教育改善モデルが ICT のみを意識しているかのような誤解を受けないように、説明を付け加えて、内容の肉付けを行う必要があると考えている旨の説明がなされた。

V. 次回の開催日程

電子メールで連絡調整を行って、開催日程を決めることとなった。